

配合変化に関する情報を提供した例

プレアボイドとは薬学的ケアから患者の不利益（副作用、相互作用、治療効果不十分など）を回避あるいは軽減した事例を意味します。今回は、薬歴を確認し配合変化に関する情報を事前に提供することで、配合変化を未然に回避できたプレアボイドを紹介いたします。

患者背景

- ▶化学療法施行目的で入院された患者
電解質補正目的で以下の注射薬がオーダーされた

Rp. 硫酸 Mg 補正液 1mEq/mL 40mL
5%ブドウ糖液 100mL
末梢点滴注射 10 時間で投与

Rp. リン酸 Na 補正液 0.5mmol/mL 20mL
生理食塩液 100mL
末梢点滴注射 1 時間で投与



E さん

E さんに処方された硫酸 Mg 補正液と、リン酸 Na 補正液について、
同じ点滴ルートから投与予定でしょうか。

はい、同じ点滴ルートから投与予定です。

リン酸塩とマグネシウム塩を配合すると、沈殿を生じる恐れがあるため、同時に投与することは避けるようにお願いします。
また、同じルートから続けて投与する場合、ルートを生食等で洗い流すことが望ましいと考えます。

配合変化の情報提供をありがとうございます。
それでは、同時投与を避け、投与前後にルートを洗い流すための生食をオーダーしておきます。

ありがとうございます。
投与される看護師さんにも、配合変化のことをお伝えしておきます。

その後、硫酸 Mg 補正液とリン酸 Na 補正液は別々に投与され、投与前後には生理食塩液でルートが洗浄されることで、配合変化を起こすことなく投与が終了した。

薬歴を確認し配合変化に関する情報を事前に提供することで、配合変化を未然に回避できた。